

中央大学学員会 49年白門会会報

第5号

発行日 平成14年12月4日
 発行人 山崎厚太
 発行所 中央大学学員会49年白門会
 印刷所 (有)東光美術印刷

東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学駿河台記念館学員会事務局 TEL. 03-3219-6175

CONTENTS

- 1 ページ ★「オーヴァー・ザ・五〇歳」山崎司平副会長挨拶
- 2 ページ ★2002年度総会議案報告
- 3 ページ ★総会・懇親会レポート
- 4 ページ ★会員からのエッセー「わが街を語る」
- 5 ページ ★所感「人それぞれ」
- 6 ページ ★友へのメッセージ「50歳の決断に迷いなし!!」 ★事業部掲示板
- 7 ページ ★鎌倉ハイキングレポート ★ホームカミングデーレポート
- 8 ページ ★どこでもドアでお出かけ ★会費納入のお願い ★編集後記

2002年度総会に40名参加!!



49年白門会

(題字・葛西 聖司)

オーヴァー・ザ・五〇歳 49年白門会副会長 山崎司平



私は、二六歳のときに司法試験に合格したので、五二歳になった今年
 は人生の折り返し点であった。更に、
 二七歳の時に結婚をしたので、めで
 たく銀婚式を迎えることができた。
 平均的ともいえる年齢で、職業や結
 婚という人生の節目を迎えた者には、
 五〇歳という年頃も、また人生の節
 目に当たるといえる。

私の大学時代の友人の一人は、今
 年の六月、弁護士任官制度によって
 裁判官になった。また別の友人は、
 今年の八月に、裁判所書記官から簡
 易裁判所判事になった、彼らは現役
 で中大に入っていたので、満五〇歳
 での転職であった。彼らの決断は、
 友人であることに誇りを抱かせてく
 れる慶事であった。

他方、辛い出来事を迎えた友人が
 いるのも、また、現実である。高校
 時代の友人は、会社のイジメ的な転
 勤命令にプライドをスタスタにされ
 今年の三月に、三〇年間勤めていた
 会社を退職した。別の同い年の友人

は、今年の一月に、肝臓移植が助
 かる途が無いと宣告され、まさに生
 死をかけた闘いをしている。

ところで統計によれば、五〇歳前
 後のいわゆる熟年離婚が飛躍的に増
 加している。理由は様々だろうが、
 夫が、妻や子どもらと適切な会話を
 してこなかったこと、つまり、精神
 的な交流を疎かにして来たケースが
 多いように思われる。こんな状況で
 五〇歳前後になると、生活の中心
 な役割を担って来た子どもが独り立
 ちをし始めるので、夫と妻が直接的
 に向き合う場面が増えることとなり、
 長年のツケが爆発するのである。

ひとつになった指輪

周辺に禍福が交错している中で、
 銀婚式の頃、妻がリニューアルした
 指輪を手に入れた。妻と私のプラチ
 ナのマリッジリングと、立爪のダイ
 ヤモンドのリング等を加工して、一
 つの指輪に仕立て直したのである。
 新婚時代の二つのマリッジリングが、
 年齢を重ねた妻に相応しいリングに
 生まれ変わったのを見て、「二つのリ
 ングが一つになった。私たちの夫婦
 に、新しい時代が来るなあ…」とい
 う感慨を覚えたのであった。

【49年白門会2002年度総会】

2002年6月29日（土）、御茶の水にある中央大学駿河台記念館の3階320号室で、2002年度の『49年白門会』の総会が開かれた。

40名の出席者からの盛大な拍手で、5つの議案は滞りなく可決承認された。役員全員が再任され、新たな1年に1歩を踏み出した。

第1号議案

2001年度活動報告について

1・2001年4月8日（日）

中央大学「観桜会」参加

中央大学多摩校舎・10名参加

2・2001年5月19日（土）

中央大学49年白門会「支部旗」贈呈式

中央大学駿河台記念館

3・2001年6月30日（土）

中央大学49年白門会2001年総会・懇親パーティー

中央大学理工学部校舎・33名参加

4・2001年8月4日（土）

グルメの会準備会（神田界限・「まつや」「竹むら」）

（12名参加）

5・2001年10月28日（日）

第12回中央大学ホームカミングデー参加

中央大学多摩校舎・14名参加

6・2002年1月26日（土）

中央大学49年白門会新学生会

（銀座「Sunmi」高松）・34名参加

7・中央大学49年白門会会報の発行

第2号・2001年6月7日（木）

第3号・2001年12月13日（木）

8・中央大学49年白門会幹事会活動

第5回・2001年5月16日（火）

第6回・2001年6月7日（火）

第7回・2001年9月18日（火）

第8回・2001年12月13日（木）

第2号議案

2001年度収支決算書

（2001年4月1日～2002年3月31日）

〈収入の部〉（単位 円）

費目	決算額
会費収入	193,000
懇親会収入	335,000
雑収入	55,400
収入合計	583,400

〈支出の部〉

費目	決算額
通信費	59,950
事業費	183,750
事務費	0
懇親会費	331,438
交際接待費	100,000
雑費	4,957
支出合計	680,095
当期収支差額	△96,695
前年度繰越金	1,487,581
次年度繰越金	1,390,886

第3号議案

2002年度事業計画案について

1. 「中央大学49年白門会」事業計画基本について

会員相互の親睦・交流、会の組織強化、中央大学および学生会他支部との交流を図るための活動を行う。

(1) 親睦会・懇親会等の開催と各種同好会活動の実施

(2) 会員名簿の発行と会報の発行

(3) 新規会員の勧誘

(4) 中央大学学生会他支部との交流

2. 2002年度事業計画（案）について

(1) 「観桜会」への参加

(2) 「ホームカミングデー」への参加

(3) 「新年会」の実施

(4) 「ハイキングの会」「グルメの会」等の会員親睦会

(5) 「中央大学留学生」への支援

(6) 関西支部結成に向けての事前活動等々

第5号議案

2002年度役員案

支部長（会長）

山崎厚太（経）再任

副支部長（副会長）

山崎司平（法）再任

葛西聖司（法）再任

宮川保（経）再任

山田正（理）再任

渡邊秀和（文）再任

中島章夫（経）再任

副幹事長

荒木康裕（法）再任

小林次男（商）再任

後藤徳彌（経）再任

増田勝美（法）再任

大竹力三（法）再任

木村真（法）再任

中山和實（法）再任

小澤秀敏（経）再任

板倉英行（商）再任

吉江信博（商）再任

会計監事

廣報部

増田勝美（法）再任

大竹力三（法）再任

木村真（法）再任

中山和實（法）再任

小澤秀敏（経）再任

板倉英行（商）再任

吉江信博（商）再任

第4号議案

2002年度予算案について

〈収入の部〉

費目	予算額	摘要
会費収入	280,000	(入会金@1,000×40、会費@3,000×20、@9,000×20)
懇親会収入	400,000	(総会懇親パーティー@5,000×40、新年会@5,000×40)
雑収入	50,000	(総会懇親パーティー寄付金他)
前年度繰越金	1,390,886	
合計	2,120,886	

〈支出の部〉

費目	予算額	摘要
通信費	100,000	(郵送料、はがき代)
事業費	200,000	(会報制作費他)
事務費	50,000	(事務用品、幹事会賃借料、交通費他)
懇親会費	400,000	(総会懇親パーティー・新年会飲食費他)
交際接待費	100,000	(留学生の集い・他支部への包み金他)
雑費	50,000	(郵便振替手数料、学員時報広告料他)
次年度繰越金	1,220,886	
合計	2,120,886	

決意新たに「49年白門会」 総会が盛大に開かれた!!

2000年7月2日に設立総会を開いてから3回目の「49年白門会」の総会が40名の出席の下開かれた。今回は役員改選の年であったが、全員再任された。新たな年度に向かい、決意を新たにした総会であった。総会後の懇親会は夜遅くまで御茶の水泉隈で続いた。

総会の会場は 再び御茶の水

6月29日(土)午後2時半、また開会まで30分もあるというのに、御茶の水の駿河台記念館3階フロアには、現役の学生に混じって、見慣れた五十路の顔、顔、顔。49年白門会



総会の日である。2年前の設立総会を1回目と数えると、今回は3回目の総会となる。3回目となると、段取りはうまくなるし、テンポも良く流れるように進んだのである。設立総会は途中からの凄まじい雷雨の中で、それぞれが緊張した面持ちでぎこちなく進行していたの思い出す。2回目は雨が降ったり止んだりの理工学部校舎での総会だった。今回は曇天ではあるが、雨はなんとか持ちそう。周囲を見回すと皆の目は既に学生時代に戻っている。出席総数40名。事業部の梅田真人氏の司会で定刻3時の開会となった。議長には安藤正幸氏が選出され議長席に着いた。

議題は、平成13年度事業報告および決算、平成14年度事業計画および予算案、役員改選である。安藤議長の見出しにより各担当役員が議案の説明を行い、大きな拍手で承認

されていく。役員改選は今回が初めてであったが全員が再任となった。山崎厚太会長からは、一人でも多くのメンバーに参加してもらい、全員がこの会を運営していきたいとの抱負が語られた。また、各部には数名ずつの幹事が増員され、組織がより強固なものに改革された。次期改選期にはこの新メンバーの中から何人かが役員になること感じた。

最終議題の「その他」では、母校125周年記念事業への寄付について質疑応答があり、「10年の年賦払いとする方針」と「金額については別途協議すること」を確認した。1時間弱の総会終了後、懇親会に出席されずに帰られる方もおられるため、全員で記念撮影となった。

新しい顔も ふえてきた!!

懇親会には総会と同じ部屋で行った。準備をする間しばし他の部屋で待機。準備が整い、午後4時から懇親会がスタートした。この懇親会から参加の方も数名おられた。司会は大坂に転勤になったNHKアナウンサーの葛西聖司氏が久しぶり



りに登場。さすがプロの名司会には順調に和気調々とした雰囲気で行っていた。開会挨拶は荒木康裕氏。乾杯の音頭は理工学部教授の山田正氏がおこなった。乾杯の前に山田氏から「縮み傾向の日本に喝をいれる」憂国の心情を具体的な例を出してのお話があった。熱く語る口調に一同思わずグラスを片手に聞きいったら5分間だった。山田氏の乾杯の発声で開宴となり、早速仲間同士がテーブル間を行ったり来たりと、あちこちで話の輪が広がった。今回初参加の加納、三溝、増澤、高木の4氏が紹介され、それぞれが挨拶をした。各氏とも非常にユニークなお話をしたので会場は「笑覚感羨」。4人を囲んでの談笑が続いた。お開きも近付き、板倉英行氏が前へ出ると、待ってましたとばかりに校歌斉唱。そして応援歌と続き、最後は2年間の単身赴任先の対馬から東京勤務に戻られた渡邊秀和氏の閉会の言葉でお開きとなった。後ろ髪を引かれる半数以上の24名が御茶の水駅前2次会会場へ繰り出した。梅雨空ではあったが雨も降らず、少し蒸し暑い駅前前は、28年前と同じように若者達で賑わっていた。心地好い酔いに身を預けた面々だったが、翌日に余韻を残した方も居られたのではなかろうか。

(原 伸止)

会員からの
エッセー

50歳を過ぎて我が街を語る

卒業と同時に故郷にUターンした人、就職先の土地へ行った人と様々ですが、大卒を卒業して28年、すでに50代になりました。終の住処、リタイア後の住家など考えていると思います。会員の皆様の住家のある街を書いていただきました。

わが街の三大見所

梅田 真人(経済) 埼玉県 庄和町

私の住んでいる所は、埼玉県の庄和町です。何処にあるかといえば、埼玉県の最東端に位置し、江戸川を挟んで千葉真野田市、車だと20分で茨城県、30分程度で群馬県という大変都合のいいところにあります。面積は約30平方キロメートル、人口約3万8千人の緑が多い静かな小さな街です。

こんな小さな街に、ちよつとした自慢できる3つの見所があります。

その一つは「大風あげ祭り」です。全国的に有名なこの祭りは、風の大きさが縦15m、横11m、重さ800kgで、「百畳敷きの大風」と呼ばれ、大きさと伝統共に日本一を誇るものです。

揚げる時は、太いロープを地元の若い衆50人から100人程度が引つ張り、江戸川の土手の傾斜を利用して揚げます。祭りは例年5月3日・5日の両日に実施され、県内外から3万人の見物客を呼ぶ有名なものです。

二つ目は、近くの江戸川河川敷に作られた、広さが日本一のグライダー

滑空場です。休日ともなれば、何機ものグライダーが飛び立つ、壮大な風景が見られます。

三つ目の見所は江戸川です。関東の多くの川を集めて流れ下る、流域面積が日本一広い利根川が、千葉県関宿で分流して南下し、東京湾に注ぐ約60kmの川、これが江戸川です。分岐点の壮大な光景はなんともいえない感動があります。

いつか、白岡会の皆様の来町をお待ちしています。もちろん、酒、パベキュー、その他を用意して…。

我が街・京都伏見

中山 正隆(法) 京都市 伏見区

私の住んでいる京都市伏見区(旧伏見市)は、お酒の街として知られていますが、京都と大阪を結ぶ交通の要所です。豊臣秀吉がこの地に伏見城を築城したのも「京の都」を抑えるのに最適の地だったからです。

徳川の天下の下にあつても將軍家の居城となりました。しかし、慶長の大地震により伏見城が倒壊したの、江戸に「銀座」を移すと共に、江戸を中心とする体制がひかれ、政治の舞台から消えていきました。

この地が再び脚光を浴びるのは、明治維新の時です。いわゆる「鳥羽・伏見の戦い」です。「鳥羽」は、鳥羽離宮のあつた地で、現在名神高速道路・京都南インターチェンジがある地です。「伏見」は、奉行所主戦場はどうやら伏見の街の中だったようです。というのも、伏見奉行所から150m北側に御香宮があつて、薩摩藩が陣を敷いていた場所、奉行所に向け巨砲を撃っています。また、御香宮の南西約100mの地点に「魚三妻」という料亭があり、その格子窓には、今も官軍が放つた弾痕が残っています。

明治になってからもこの地は伏見市として栄え、伏見の京橋と塩小路(京都駅前)との間に、日本で最初の路面電車が開通しました。昭和6年、紀伊郡舞鶴町(伏見稲荷で有名)、紀伊郡深草町、紀伊郡桃山町と共に伏見市が京都市に併合され、伏見区となりました。その後、醍醐や淀、羽東師の各地域を併合し、京都市内で最大の人口を抱える行政区として今日に至っています。

我が町・津久井

永木 道雄(理工) 神奈川県 津久井町

僕の住んでいる町、津久井は神奈川県北西部に位置し、山梨県境まで車で30分程度で行くことができます。また母校の御茶の水までは、バスで30分、京王線、中央線乗り継いで80分と少々かかります。この地に移り住んで、14年になります。

さて、津久井は自然に恵まれ70パーセントは森におおわれ、水源地として神奈川県内の水と電力の供給源としての大切な役割を担っています。

す。相模湖、津久井湖、城山ダム等、五湖を抜きにしては語る事ができない町です。

幾つもの村がダムの建設に伴い、湖底に沈んだことは忘れられない町の歴史となっています。改めて湖、ダムを見ますと、人を寄せ付けない深い渓谷(秘境)であつたからこそ建設地になつたのだらうと想像できます。

また湖底には、人の良い人達が肩を寄せあい村を守っていたことも想像できます。腰が45度に曲がつた地元のお年寄りに聞きますと、大変なご苦労があつたようです。しかし、平和で素朴な変化のない農村、山村生活を営み、お父さんは山着、お母さんはモンペで山仕事、畑仕事に汗を流し、雨が降ると稲わらを編み、子供達は戦後になつても暫くの間は、小学校から帰ると近くの山に薪とりの毎日でした(当地は県内最大の木炭生産量を記録に残したこともあります。山に登ると、運がよければ炭焼きが見られます)。

皆さんは、小学校4~5年生の頃フジテレビで13か月間放映された「三太郎物語」(俺あ三太郎)で始まるテレビドラマ覚えてますか?あの舞台となつた道志村は我が家から車で10分。三太郎を中心に、花子、留、美人で優しい花萩先生、仙爺さま、懐かしいです。

恵み豊かな津久井は、幾世代にも渡つて愛される地であつてほしいの



です。しかし津久井にもパチンコ、ファミレス、コンビニ、回転ずし、ピザの宅配と、便利な文化が着実に侵略してきているのです。

わが街を語る

黒石 正樹(法) 広島県 廿日市

平成11年のホームカミングデーに参加した際、49年白岡会に入会して現在に至っています。遠方のため、なかなか参加できないのもつばらHPを見て楽しんでいます。

大学入学までは広島市内で、毎日おばさんがリヤカーで売りにくる生がき・こいわしの刺身・あさり貝を食べて育ちました。おかげで今でも黒髪がフサフサ、身長175cm、体重90kgの健康優良児です。その後大学を卒業して故郷へ帰り、32歳の時、現在住んでいる廿日市市に移転して21年になります。

廿日市市は広島市から約10km離れた距離にあり、全国的なスケールの木材港を有して、家具・建築等、木工業が主要産業であるとともに、お酒の醸造でも有名です。

景観は素晴らしく、眼前に瀬戸内海が広がり、多くの島がまるで浮かんでいるようです。世界遺産の宮島も目の前です。

朝は瀬戸内海から昇る太陽の日差しを浴びながら、夜は月の光で瀬戸内海が鏡のように照り返す景色を見ながら、広島市内にある広島赤十

字・原爆病院へ、約1時間かけて通勤しています。

御存知のとおり昭和20年8月6日、広島に原子爆弾が投下されました。世界遺産となった原爆ドーム、また平和公園には「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」と刻まれた慰霊碑があり、そこでは平和の灯が燃え続けています。原爆の惨状は原爆ドーム・原爆史料館などでその一端を見ることができ

ます。あれから57年の歳月が過ぎ去りましたが、いまだ世界の状況は厳しい様相を呈しています。地球は一つの時代です。平和の原点ヒロシマの地から核廃絶を願い、世界中の人々が幸せになることを祈っています。大学を卒業して28年、お互いに花の5代になりました。質実剛健の中大精神で21世紀をがんばろう！ 会う機会を楽しみにしています。

ただいま Jターン中

大分県 大分市 野尻 勝彦(理工)

早くも九州・大分市に移り住んで10年が経ちました。仕事の関係で、神奈川の相模原から両親の郷里である大分にJターンです。高校までは同じ九州の福岡県にある北九州市小倉で育ちました。もともとが九州男児なのです。

Jターンといっても大分は、両親

の郷里でもあり、小さい頃に何度も遊びにきていましたので縁のない場所ではありません。遠くの方から見ると、福岡も大分も同じに見えることでしょうか。人によっては大分は福岡？ 四国？ なんて方もいることでしょう。大分市は温泉で有名な別府や湯布院の近くです。

ドライブ好きの私にとつて、自宅から30分も車を走らせると、そこはもう奥深い山の中で、十分ドライブ気分が満喫できて最高です。渋滞などは滅多にありませんので、時間を有効に使えます。

所感 人それぞれ 佐藤 隆(経済)

昔、フランス語の授業で「自由」「平等」「博愛」の「平等」に関して、日本人の感覚としての「平等」とは意味合いが違っていると、教わったことがある。

つまり、日本人のそれは「なんでも等しい」「なんでも一緒」が平等であるのに対して、フランスでのそれは「その分に応じて」「その能力に応じて」の平等ということ、例えば同好会の会費等から授業料に至るまで、その人の収入に応じて差をつけることが「平等」ということであると。

さて、ことほど左様に物事の「意

そんな訳で余暇はのんびり過ごせますが、仕事に関しては、むしろ地方のほうが厳しい面が多いです。通勤は楽ですが、出張が多いです。なにせ、地元で請け負う仕事は殆ど無く、北は青森から南は沖縄まで飛び回っています。月の3分の2は出張で家を留守にすることが多いので、のんびり生活している感じは余り味わえない気がします。

大分は引退して住むには最高かも。もともと私は、可能ならば引退後は、家内の故郷である沖縄に住むのが夢ですが…。

味合い」や「価値観」「スケール」は、人それぞれ国民それぞれによって違うものであることが、こんな事でも良く解る。

日本人は、歴史の永きにわたり、いわゆる「島国」としての単一民族国家であったわけだが、昨今の国際化社会において、その「違い」を前提に考えることが、より重要なことと思ふ。

また、この「違いを前提」とすることは、親子間でも会社の中でも同じであろう。人間性が形成される大事な時期に、食べるものもろくに無い時に育った子と、飽食の時代で子

昨年、仕事で沖縄の病院へ暫く滞在することがありました。そこは療養型の病院なので、人里離れた海岸にある病院です。長い廊下の向こうに、信じられないほど青く輝く海が見え、真っ白な砂浜とのコントラストは、まさに楽園の景色でした。沖縄の海は当たり前外れが無く、田舎の民家の裏山ならず裏海は、まったくの楽園風景です。家内曰く、それが普通なので本土の海のほうが信じられないとの事。こもつともで引退後は裏海を眺めて、のんびり余生を送りたいものです。

供に教育する親自身が、注文したものを平気で残す世代の子としては、「同じ価値観」を求めることそのものが無茶というものであろう。そしてこうした各々の思考経路や価値観の「違い」を認めあうことが「人権」を尊重するということであらう。

勿論会社という組織においては、各人の価値観が同じ方が目標を追求しやすいことは当然であらう。しかし、この「違い」を尊重した上で、案件ごとでの「目標統合」を図ることこそが、組織目標達成への早道と思われる。まさにそれは「急がば回れ」ということかもしれない。

文末が仕事の話になってしまった。この思考経路もまた結構重症かもしれない。

※会員の皆様からの所感・雑感やエッセー等を募集しています。事務局のほうにお送りください。(広報部)

友へのメッセージ

50歳の決断に迷いなし!!

増澤 繁(法)



私は皆さんと同じ50代でありながら、現在学生。それも司法試験予備校の学生です。

毎日、民法の択一問題や商法の論文問題に取り組んでいます。

民法の択一問題で、「あー、時間が足りない、6問も残してしまっただとがっかりしてみたり、商法の論文問題で、「わっ、自己株式に関して商法が改正されていた」と驚いたりしています。

さて、なぜこの歳でこういう人生を歩んでいるのでしょうか？ それはやはり、50歳という節目だからでしょう。誰しも50歳という節目がくると考えるところがありますよね。私も、またしかりです。

「このままでいいのだろうか？何か新鮮で心が洗われるようなことに挑戦してみたい。そして、挑戦というからには、誰しもが成し得ることでないことに挑戦してみたい。」

母校・中央大学は、私が在学していた頃は、司法試験合格者数はナンバー1だった。だからこそ私も中央大学を選んだんだ。なのに現在はナ

ンバー5。はつきり言って情けない。

よし、ただ憂いていないで私も司法試験に挑戦しよう。50代で無茶かもしれないが、挑戦する価値はあるだろう。

という事で、当初は会費員をやりの司法試験の勉強を始めました。しかし、どうも両立しません。考えてみれば当然で、昔ほどにないせよ、まだまだ司法試験は非常に難しい試験です。

50歳で現役の学生!!

両立できないのならばと、28年間のサラリーマン生活とお別れし、完全に学生になっちゃいました。

学生になって暫くは、はたしてこれでよかったのかという思いはありました。意気込みだけで合格できる試験じゃありません。はつきり言ってサラリーマンは高給がもらえて、かつ気楽でした。

学校でも、なんで今頃学生なんだ、という目で見る人もいますしね、しかし、勉強の過程で感激することもあります。

「人の自己決定は尊重される。なぜなら人はいずれ死ぬものであり、それに至るまでの生き様は自分で自由に決定できる」これは、ある事件の判例です。

橋本公巨先生の「日本国憲法」を何と約30年ぶりに読み返しました。この本全体を貫く人の自由の尊さへの先生の信念に感銘しました。今にしてなるほどと思います。

私は、今では50歳の決断に全く迷いはありません。私も自由の尊さを固く信じています。そして、毎日自分に言い聞かせています。

自由を謳歌しよう。遠慮するな。欲張れ

こんな私から、同期の皆さんに自信を持って勧められることがあります。それは、昔の教科書をちよつとでもいいから、真剣に読み直してみる事です。今の自分の視点から読んでみる事です。学問には奥深いところがあります。そしてそれは、固定したものではなく、自分と共に進化して行くという事が実感できるのではないのでしょうか。

私は今後10年間、司法試験に挑戦し続けます。同期会でまた会いましょう。

事業部掲示板

新年会

今回は前回と同じ銀座の「Sunmi高松」で行います。土曜日の午後5時、美味しい料理とお酒で友好を深めましょう。

もちろん、二次会の用意もしております。

多数の会員の皆様の参加をお待ちしております。

日時 平成15年1月25日(土)
午後3時~5時

場所 Sunmi高松

東京都中央区銀座6-3-9
TEL 03-5208-3300

会費 5千円

今後の予定

- ①春のハイキング
 - ②グルメの会(老舗めぐり)
 - ③寄席のぞき(落語を楽しむ会)
 - ④映画鑑賞会
- 実施決定後、ホームページ「掲示板」に実施方法を掲出します。

※事業部の活動とは別に、皆さんの計画がありましたら、ホームページ「掲示板」を使って仲間集めをしてみませんか。

山崎司平法律事務所
第二東京弁護士会所属
日本弁護士国民年金基金常務理事
中大法学部非常勤講師

辯護士 山崎 司 平

東京都中央区銀座3丁目10番9号 共同ビル6階
電話 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280

主要取扱申請書類等

- ◇建設業・工事入札・産廃業・宅建業
- ◇風俗営業・会社設立・会計帳簿作成
- ◇外国人在留手続・帰化・国際結婚
- ◇遺言書作成・遺産分割協議書作成

法律相談 申請書類作成 提出手続代行
行政書士 増田勝美 電話 03-3713-2299

鎌倉 晩秋の古都を歩く

国玉探訪とハイキングを兼ねて晩秋の古都・鎌倉へ11月9日(土)に行ってきた。事業部長の増田氏をリーダーに、美女2名を含む総勢10名で、北鎌倉駅から鎌倉駅までの約10kmのお寺巡りとハイキングで心地よい汗をかいた1日でした。



紅葉はまだ三分といったところの田覚寺が最初の訪問地。

「教科書に載ってたよね」「北条時宗が建立した寺だったっけ？」等、気分は修学旅行。東慶寺では文学者のお墓や、尼寺の風情をかもし境内に佇んでいると、時間がゆつくりと過ぎていきました。

天気も小春日和の穏やかな日で、陽が出てると汗ばむ陽気。思ったより人が多く、行く先々は我々の世代より少し上のグループで賑わっていました。

東慶寺を後にして向かったお寺は

難行苦行のハイキング

建長寺の奥から天園ハイキングコースが始まっています。スタートは平坦で竹林等があり、京都の嵯峨野を思わせる感じで、大した事はないと、内心思っていました。しかし、ものの5分としないうちに勾配がきつくなり、展望台手前では急勾配の石段が続き、日頃運動不足の小生にとっては、息は切れるは、足はつりそうになるのは大苦戦。

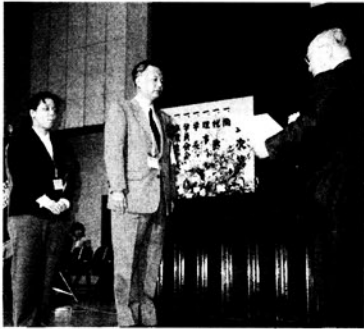
相模湾を見下す展望台で昼食をとりました。休憩後、頂上を目指して出発したが、幹事長の中島氏が持参してくれたワインをたらふく飲んだせいか、急勾配の石段や坂道の連続で、10人の列がいつのまにか長くなってきた。賑やかな女性陣の声も、いつしか聞かれなくなり、ひたすら足元を見つめての前進のみ。

頂上からは起伏のある尾根伝いを歩き、時々見え隠れする晩秋の陽に照らされた相模湾や、風の音、鳥の声を楽しむ余裕が出てきた。しかし、下りは下りでかなりきついところもあり、滑って転んだり、道を間違えたりしてやつの思いでハイキングコースの終着地・瑞泉寺にたどり着きました。3時間半のハイキングで

ホームカミングデーに参加して

明け方まで降っていた雨も上がり、初秋の太陽が覗いてきた9月29日(日)第13回中央大学ホームカミングデーが行われました。

いつもは多摩校舎の木も紅葉が始まって、秋らしい装いの中でのホームカミングデーなのですが、今年は学長選挙のため半月早めの開催で、木々はまた青々としていました。少し蒸し暑い気候の中、多摩キャンパスには続々と卒業生が集合。今年は例年と違い、懇親会の参加費が無料という事で、昨年よりは参加者が多いようでした。会場のレイアウトもいつもと少し違っていて、すつ



表彰される山崎会長親子

した。

鎌倉宮と鶴岡八幡宮は七五三のお祝いの親子連れが目につきました。大混雑の小町通りを散策し、午後4時に鎌倉駅前解散。5人はそのまま駅前の居酒屋に直行し、反貧会を兼ねて次回のハイキングの計画について話し合いました。(村岡 潤)

きりした感じ。

懇親会は午後1時から始まりましたが、午前中に開かれた開会式では記念すべき事がありました。我が49年白門会の会長である、山崎厚太氏が親子二代卒業生として表彰されました。父・敏也氏(法学部)、本人・厚太氏(経済学部)、娘・厚子さん(商学部)の三代が中央大学卒業生(厚子さんは在学中です)として、今回1組だけ表彰されたのです。懇親会の会場には、山崎会長の奥様と息子さんも加わり、一家全員が参加されました。

例年通り1卓を陣取り、49年大会の幟を掲げたテーブルに15名の会員が集まりました。会場は外と同様、少し蒸し暑く、上着を脱いでの懇親会になり、料理も酒も十分で、お互いの近況報告に話が盛り上がりしました。

恒例の抽選会は、今年も昨年同様同期からは立派な賞品が当選者が出ませんでした。が、そんな事は気にせず、司会の葛西聖司氏を囲んでの記念撮影をしてお開きになりました。(広報部)

電気設備・設計施工 **FUNAMI**

栃木県庁 宇都宮市役所指定 関東一円

株式会社 船見組

代表取締役 社長 船見 二三男

〒320-0014

栃木県宇都宮市大曾5丁目3番6号

TEL 028-622-0321 (代)

FAX 028-624-4499

永六輔さんも「待ってましたア」とご推薦

名セリフの力

—日本語をきたえる76のことば—

NHKエグゼクティブ・アナウンサー 葛西聖司 著

「知らざア言って聞かせやしよう」「お若えの、お待ちなせえ」……誰でも知っている名セリフから、日本語の豊かな表現力を学び、会話力を強くする。

四六判上製 278頁 定価1780円(税込)

展望社 東京都文京区小石川3-1-7 ☎03-3814-1997 FAX 03-3814-3063

どでもドア でも出かけ

49年白門会
HP管理人
肥沼 敏子

大学生の息子に車での遠出を許さないでいたら、「じゃあなぜ 免許

い知識を身につけて利用すべきなのです。

取ることを促されたの？」と言われました。新聞でコンピューター犯罪について連載記事が載っていた時に「インターネットって怖いのね」という友人の言葉になんと返したら良いか考えているうちに、この一件が頭に浮かび「インターネットって車の運転に似ている」と思いました。「運転くらい出来なくちゃ」と免許の取得を勧めたものの事故が怖くて運転しないで欲しいと思っていたのです。車もインターネットも使えば便利だと思うけれど出来なくなったりなんかかなるし、使わなければトラブルにも巻き込まれないで済みます。

永年機械を使ってきた私なのにパソコンを扱う手つきはもう息子にはかないません。先日車に同乗した主人も「あいつ結構運転上手いね」もしかして二人して親バカ。いよいよ一般論ですよ。車の運転もパソコンの使いこなしも確かに若者のようにはいきません。だからといって敬遠してはもったいないと思いませんか？ パソコンを使うことでこれからの人生がさらに充実したものになるにちがいないのです。

でも使えばなんて世界が広がることでしょう。敬遠していませんで正し

若くなくなつてから新しいことに手を出すのが苦手になりました。眼が悪くなった、理解力が低下した、反射神経がぶくなった、酒が弱く

今日からパソコン!!

この会報が発行される頃はもう師走。つい先日が総会だと思っていたら、あつという間に半年が過ぎようとしていた。

私事で恐縮だが、51歳になった今年には結婚25年、銀婚式の年を迎えた。25年前というと、卒業3年目で、二つ目の会社にいた頃である。その当時は履歴書に転職歴があるだけでハ

会費の納入についてのお願い

中央大学49年白門会会計担当

49年白門会は会費によって運営されています。未納入の方は、是非、会費を納めてくださるようお願いいたします。

年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。

- ①郵便振替 (手数料は不要です)
振替口座番号「00180-3-196081」
口座名称 「49年白門会」
- ②銀行振込 (振込手数料が必要です)
銀行名 東京三菱銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」
口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

49年白門会連絡先・事務局

※住所・勤務先変更、メールアドレスの登録、新規会員紹介、お問い合わせ等、何でもご連絡ください。

※年2回発行するこの会報へ、広告の出稿、詩、俳句、エッセー等の原稿、企画案、ご意見をお寄せください。

49年白門会副会長 宮川 保
中央大学学員会事務局 電話 03-3219-6175
FAX 03-3219-6177

中山行政書士事務所

法務省認定 (東) 第98-186号入国管理局申請取次行政書士
各種就労ビザ、帰化、永住、定住、営業許可申請、会社設立、法律相談一般行政書士、宅地建物取引主任者、不動産コンサルティング

中山 和 實

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-12-6
高田馬場西商店街ビル402号室
電話・FAX 03-5330-0651
携 帯 090-3699-8733
E-mail: n-kazumi@tkg.att.ne.jp
http://home.att.ne.jp/sea/n-kazumi/

編集 後記

きょ? し解 美誤

当時の誰かが信じて疑わなかった

当時の誰かが信じて疑わなかった

ふと考えた。(原 伸止)

広告募集

この会報を作る費用を広告収入である程度賄う予定です。広告スペースを5千円で提供します。原稿の版下があればそのまま使いますが、無ければ広告原稿を広報部で作成します。お申し込み、ご相談は事務局までご連絡ください。